

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようにする。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事における学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸香織 加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	デジタルファンデーション 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法と基準	出席率100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パソコンの起動方法と基礎知識① 各種ダウンロード、授業履修のための準備	授業の復習
2		講義・演習	パソコン基礎知識② Adobe・Macのアプリ(Keynote)	授業の復習
3		講義・演習	卓録について 収録機材と収録環境について	授業の復習
4		講義・演習	音声編集について	授業の復習
5		講義・演習	Photoshop① 基礎	授業の復習
6		講義・演習	Photoshop② 写真の修正	授業の復習
7		講義・演習	Photoshop③ サムネ	授業の復習
8		講義・演習	Photoshop④ サムネ	授業の復習
9		講義・演習	Premiere① 基礎・操作	授業の復習
10		講義・演習	Premiere② オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
11		講義・演習	Premiere③ オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
12		講義・演習	Premiere④ ショートカットなど(基礎編集)	授業の復習
13		講義・演習	Premiere⑤ まとめ(基礎編集)	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デジタルファンデーション 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に着け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法と基準	出席率100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere⑤ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
2		講義・演習	Premiere⑥ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
3		講義・演習	Premiere⑦ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
4		講義・演習	Premiere⑧ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
5		講義・演習	Premiere⑨ 中間課題作成	授業の復習
6		講義・演習	Premiere⑩ 中間課題作成	授業の復習
7		講義・演習	Premiere⑪ 中間課題作成	授業の復習
8		講義・演習	illustrator① 基礎	授業の復習
9		講義・演習	illustrator② フライヤー作成	授業の復習
10		講義・演習	illustrator③ フライヤー作成	授業の復習
11		講義・演習	簡易CM制作① グリーンバック・マスク	授業の復習
12		講義・演習	簡易CM制作②	授業の復習
13		講義・演習	簡易CM制作③	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備 学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習したり発表する						
到達目標	①日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	韓国語2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	韓国語の読解・聴解・会話スキルを発展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハングルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	ダンス&ヴォーカル1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JAE
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、 ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ。						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、 ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを 実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを 実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを 実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを 実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンス が実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォー マンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォー マンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォー マンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画で チェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画で チェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画で チェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画で チェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践で きる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確 認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践で きる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確 認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パ フォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践確認 動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パ フォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォー マンスを実践確認 動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実 践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実 践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカル 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JAE
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	<p>舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかりと取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 		次週に向けての自主練習。			
2		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
6		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	イーブンタイムステップ		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
8		講義・演習	ローダウン①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
9		講義・演習	ローダウン②		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
10		講義・演習	ローダウン③		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
11		講義・演習	ローダウン④		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
13		講義・演習	プルバックの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	TAP2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	<p>舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習				前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	ブルバックの練習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ			レポート提出		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	Body Fundamental1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を骨格ベースで学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について（自分の身体を感じる）	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	ケガをしにくい身体の使い方（セルフケア、ストレッチ）	日常から姿勢、ケアを意識する
4		講義・演習	骨盤（動き、構造、機能について）	プリエ、アイソレーションで骨盤を意識して動く
5		講義・演習	股関節（位置、どのように動くのか）	プリエやタンジュの動きでどのように使っているか
6		講義・演習	背骨（構造、機能、体幹の動きについて）	身体の繋がりの中で動いているか
7		講義・演習	腹筋（腹筋の種類と働き）	腹筋の動きを意識して行う
8		講義・演習	膝（機能、構造、動きについて）	柔らかいプリエの動きができているか
9		講義・演習	足（基盤としての足の構造、機能）	土台としての機能をしているか
10		講義・演習	腕（構造、動き、ポールドブラについて）	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	呼吸（呼吸の仕組み、胸郭について）	自分がどのような呼吸をしているのかを感じる
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなく、レッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する解剖学を前期の骨格ベースから筋肉の動きへと発展させる (2) セルフケアを取り入れながら身体のコンディショニングの方法を学ぶ						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の知識を通し、動きへの理解を深める (2) 自分の身体を理解することで弱点の克服、強化などを自分自身で選択、実践する能力を高めることができるようになる						
評価方法と基準	授業態度（出席率も含む） 50% 筆記試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習	前期の授業内容を確認しておく
2		講義・演習	メンタルと身体の関係	イメージの力が身体にどのように関わっているか
3		講義・演習	下肢の筋肉①（骨盤底筋、股関節周りの筋肉）	プリエの動きが効率よくできているか
4		講義・演習	下肢の筋肉②（脚から足にかけての筋肉）	タンジュからバットマンで正しく使えているか
5		講義・演習	上肢の筋肉（腕を動かす筋肉）	ポールドブラを正しく使えているか
6		講義・演習	腹筋（腹筋を使った動き）	腹筋をどのように使っているか
7		講義・演習	効率的な呼吸（肋骨、肋間筋）	日常の呼吸と踊るときと日常の呼吸の違い
8		講義・演習	背筋について（背筋の種類と動き）	背筋を意識して動くと身体はどう変化するか
9		講義・演習	体幹の動き（3軸方向の動きの連動）	上半身の動きが効率よくできているか
10		講義・演習	首の動き（環椎、軸椎）	姿勢、ピルエットとの関わり
11		講義・演習	後期試験	前期・後期の授業内容を確認しておく
12		講義・演習	授業のまとめ（試験返却、答え合わせ）	理解できていないこと、質問等をまとめておく
13		講義・演習	1年間のまとめ	自分の課題を自分で考える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ1A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14			イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ2A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14			イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ1B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる人間力・基礎力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	これから活躍する俳優に必要な要素 脚本読解の基礎	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	演じるとは何か？	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解①	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解②	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解③	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解④	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出とはなにか	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プランの構築①	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	演出プランの構築②	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	演出プランの構築③	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	演出プランの構築④	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	前期まとめ「演出技能を備えた役者とは？」	課題の実施、次週発表
14			イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			指定された脚本について読み込む、脚本読解をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
随時配布される脚本				

科目名	産学連携ゼミ2B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	役者活動暦25年 監督暦21年 DA講師暦9年						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる演技の技術・応用力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。 即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-①	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-②	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-③	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-④	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	演出プラン実習①	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	演出プラン実習②	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出プラン実習③	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プラン実習④	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	美術の発注と実際	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	劇場・ホールと予算の実際	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	衣裳発注の実際	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	発表と考察	課題の実施、次週発表
14			イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	オーディション対策 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2		講義・演習	模擬オーディションCM1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3		講義・演習	模擬オーディションCM2 企業研究を行うこと	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション映画1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション映画2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション舞台 作品・演出家について知る/2.5次元ミュージカルについて	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディションアニメ 作品・音響監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り1 自己PR30秒・パフォーマンス30秒作成	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り 卒業後のオーディションへの向き合い方について	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	デジタルファンデーション 3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法と基準	出席率100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パソコンの起動方法と基礎知識① 各種ダウンロード、授業履修のための準備	授業の復習
2		講義・演習	パソコン基礎知識② Adobe・Macのアプリ(Keynote)	授業の復習
3		講義・演習	卓録について 収録機材と収録環境について	授業の復習
4		講義・演習	音声編集について	授業の復習
5		講義・演習	Photoshop① 基礎	授業の復習
6		講義・演習	Photoshop② 写真の修正	授業の復習
7		講義・演習	Photoshop③ サムネ	授業の復習
8		講義・演習	Photoshop④ サムネ	授業の復習
9		講義・演習	Premiere① 基礎・操作	授業の復習
10		講義・演習	Premiere② オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
11		講義・演習	Premiere③ オーディションムービー(基礎編集)	授業の復習
12		講義・演習	Premiere④ ショートカットなど(基礎編集)	授業の復習
13		講義・演習	Premiere⑤ まとめ(基礎編集)	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デジタルファンデーション 4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩尾 吉原 しゅういち
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身につけ、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデュースができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法と基準	出席率100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere⑤ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
2		講義・演習	Premiere⑥ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
3		講義・演習	Premiere⑦ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
4		講義・演習	Premiere⑧ YouTuber系動画・テロップ・キーフレーム	授業の復習
5		講義・演習	Premiere⑨ 中間課題作成	授業の復習
6		講義・演習	Premiere⑩ 中間課題作成	授業の復習
7		講義・演習	Premiere⑪ 中間課題作成	授業の復習
8		講義・演習	illustrator① 基礎	授業の復習
9		講義・演習	illustrator② フライヤー作成	授業の復習
10		講義・演習	illustrator③ フライヤー作成	授業の復習
11		講義・演習	簡易CM制作① グリーンバック・マスク	授業の復習
12		講義・演習	簡易CM制作②	授業の復習
13		講義・演習	簡易CM制作③	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備 学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	①日常会話が可能になること ②必要な韓国語を身につけて気軽に話せるようにする ③抵抗感、違和感、恐怖心を持たないようにする						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	自己紹介&個人目標設定	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	ハングルの理解を深める	文字書いて読める復習を行う
3		講義・発表	教科書の勉強	ワークブックで復習
4		講義・発表	リスニング練習・ペアで話す練習	好きな勉強法で楽しく復習
5		講義・発表	発音をよく聞いてマネする	繰り返し聞いてマネする
6		講義・発表	韓国の地図・文化を知る	教科書の内容を復習
7		講義・発表	友達・趣味・関心事について	作文を練習
8		講義・発表	将来・食べ物について	考えて作文を書く
9		講義・発表	否定・賛成表現	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	一人ずつ発表	自分の声を録音
11		講義・発表	形容詞・過去形	出来事について書く
12		講義・発表	未来形・可能形	将来にやりたいことを考える
13		講義・発表	作文・スピーチ	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		反復練習を通して身につける		
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	韓国語4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	李美姫
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	①ハングルの理解、発音、読み、聞き、作文、会話スキルをアップする ②読解より実用的なコミュニケーションができるように話す力を身につける ③教科書で勉強したものを生かして活用できるようにペア又はグループで練習すしたり発表する						
到達目標	韓国語の読解・聴解・会話スキルを発展させ、韓国のニュースやドラマを理解し、日常会話やディスカッションを円滑に行えるようになる。また、過去形や条件文、敬語などの文法を習得し、正確な表現ができるようになる。さらに、韓国の文化や観光地についての知識を深め、異文化理解を促進する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 作文20% 3) スピーチ20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	新聞 - 韓国のニュース記事を読んで理解する。	ハングルの復習を行う
2		講義・発表	職業 - 職業に関する韓国語の単語を学ぶ。	ハングルの復習を行う
3		講義・発表	過去形 - 過去の出来事を表現するための文法を学ぶ。	ワークブックで復習
4		講義・発表	伝統行事 - 韓国の伝統的な行事や文化について学ぶ。	ワークブックで復習
5		講義・発表	発音練習 - 韓国語の発音を正確に練習する。	繰り返して聞いてマネする
6		講義・発表	友達との会話 - 友達との日常会話を練習する。	ワークブックで復習
7		講義・発表	ドラマ - 韓国ドラマを聴いて内容を理解する。	ワークブックで復習
8		講義・発表	条件文 - 条件を表現する文法を学ぶ。	ワークブックで復習
9		講義・発表	食べ物 - 韓国の食べ物に関する単語を学ぶ。	日常に使える表現を調べる
10		講義・発表	敬語 - 礼儀正しい表現や敬意を示す文法を学ぶ。	ワークブックで復習
11		講義・発表	観光地 - 韓国の観光地についての知識を深める。	ワークブックで復習
12		講義・発表	ディスカッション - トピックについてのディスカッションを行う。	他人の意見を聞いてレポートを記載
13		講義・発表	最終テスト準備 - 前期からの復習と最終テストの準備をする。	テスト準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			反復練習を通して身につける	
【使用教科書・教材・参考書】				
できる韓国語初級 1, 2 CD付、ワークブック、プリント、ゴロで覚える韓国語、ビジュアル韓国語、韓国語講座				

科目名	Body Fundamental 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	ブリエータンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいブリエータンジュの動きができていないか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの基礎ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのベーシックなステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シャッフル・ブラッシュ・シムシャム	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	前回の復習、スウィングの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ(トリプルまで)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	クロスフロア、スラップ、バックステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ブルバックの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ練習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今安 琴奈
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの応用ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スウィングの強化①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	スウィングの強化②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ強化	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	後期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ4A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。 オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ4B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	真田幹也
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。 オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実習 1	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・選考	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）／企画制作業務～トップコート（11年）／タレント育成&マネジメント～現サテライト東京／俳優M g・演劇プロデュース等						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	<input type="checkbox"/> タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る <input type="checkbox"/> 講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る <input type="checkbox"/> 見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる <input type="checkbox"/> テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	■ 口述試験 0点～25点・・・自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作品、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 ■ 総合的な授業態度 0点～75点 …出席率（目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で休まない。）0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0～25点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・ディスカッション	業界で働く上で必要な力・スキルを考える	志望職種に就業した未来像を想像し、必要なスキルを考えてみる
2	講義・ディスカッション	自己紹介 志望する職種、将来目標を発表。	本校に入学に至った自分の気持ちを改めて考え、本講義で学びたいことを発表。
3	講義・実習	業界人の感性に触れる 有名TVプロデューサーが作家に出した課題に挑戦	発想課題 1枚の髪で「天国」と「地獄」を表現する
4	講義・ディスカッション	マネージャーの仕事① 種類と役割	事前に自分なりにマネージャーの仕事調べてくる
5	講義	マネージャーの仕事② 実際の契約書を見て、事務所とタレントの関係を学ぶ	タレント契約書の見本を閲覧し、気づいたことをレポート。
6	講義	業界（社会）で必要とされる人格① 著名タレントのエピソードに学ぶ 松坂桃李編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
7	講義	業界（社会）で必要とされる人格② 著名タレントのエピソードに学ぶ 山寺宏一・堺雅人編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
8	講義	テレビ番組の作り方 「世界不識発見」を例にキャスティングについて考える	事前にTBS「ふしぎ発見」番組概要を調べする
9	講義・ディスカッション	言語化、語彙を増やす大切さや必要性を学ぶ 美輪明宏「愛の讃歌」の映像をみて感想を発表	初見の映像の感想を発表
10	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る①	プレゼン準備/発表
11	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る②	プレゼン準備/発表
12	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る③	プレゼン準備/発表
13	講義	業界（社会）で必要とされる人格③ 著名タレントのエピソードに学ぶ ある俳優の失敗談編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
14	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	

科目名	マネジメント実習2	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・選考	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）／企画制作業務～トップコート（11年）／タレント育成&マネジメント～現サテライト東京／俳優M g・演劇プロデュース等						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	<input type="checkbox"/> タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る <input type="checkbox"/> 講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る <input type="checkbox"/> 見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる <input type="checkbox"/> テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	■ 口述試験 0点～25点・・・自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作品、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 ■ 総合的な授業態度 0点～75点 …出席率（目的を持って授業に出席する。社会人の準拠として気分で行かない。）0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0～25点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・ディスカッション	業界で働く上で必要な力・スキルを考える	志望職種に就業した未来像を想像し、必要なスキルを考えてみる
2	講義・ディスカッション	自己紹介 志望する職種、将来目標を発表。	本校に入学に至った自分の気持ちを改めて考え、本講義で学びたいことを発表。
3	講義・実習	業界人の感性に触れる 有名TVプロデューサーが作家に出した課題に挑戦	発想課題 1枚の髪で「天国」と「地獄」を表現する
4	講義・ディスカッション	マネージャーの仕事① 種類と役割	事前に自分なりにマネージャーの仕事を調べてくる
5	講義	マネージャーの仕事② 実際の契約書を見て、事務所とタレントの関係を学ぶ	タレント契約書の見本を閲覧し、気づいたことをレポート。
6	講義	業界（社会）で必要とされる人格① 著名タレントのエピソードに学ぶ 松坂桃李編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
7	講義	業界（社会）で必要とされる人格② 著名タレントのエピソードに学ぶ 山寺宏一・堺雅人編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
8	講義	テレビ番組の作り方 「世界不識発見」を例にキャスティングについて考える	事前にTBS「ふしぎ発見」番組概要を調べする
9	講義・ディスカッション	言語化、語彙を増やす大切さや必要性を学ぶ 美輪明宏「愛の讃歌」の映像をみて感想を発表	初見の映像の感想を発表
10	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る①	プレゼン準備/発表
11	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る②	プレゼン準備/発表
12	プレゼン	好きなタレント・アーティストについて語る③	プレゼン準備/発表
13	講義	業界（社会）で必要とされる人格③ 著名タレントのエピソードに学ぶ ある俳優の失敗談編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
14	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	

科目名	マネジメント実習 3	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）／企画制作業務～トップコート（11年）／タレント育成&マネジメント～現サテライト東京／俳優M g・演劇プロデュース等						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	<input type="checkbox"/> タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る <input type="checkbox"/> 講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る <input type="checkbox"/> 見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる <input type="checkbox"/> テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	■口述試験 0点～25点 …企業面接で想定される質問に対して臨機応変に対応し、自己アピールにつながる様な回答ができるか。 （咄嗟に出された質問に自分の考えを自分の言葉で相手に伝える） ■総合的な授業態度 0点～75点 …出席率（目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で休まない。）0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。0～25点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・実技体験	俳優のマネジメント 台本を読む。役作りのヒント／キャストニーズを考える。	事前に配布される台本を読み込んで演技体験 台本からキャラクターをイメージする
2	適正診断テスト	適正診断テスト 性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る	講師が用意する適正テストを受ける
3	講義	ダンサーなのに！？ なぜTAKAHIROをトップコートでマネジメントしたか	事前にTAKAHIROのほか著名ダンサー、振付師について自分なりに調べる
4	講義・ディスカッション	タレントという職業を考える	メディアに出ているタレントの世に出たきっかけを調べてみる
5	講義	新人開発の方法と極意	講義を受けた感想レポート
6	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする①	プレゼン準備／発表
7	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする②	プレゼン準備／発表
8	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする③	プレゼン準備／発表
9	講義・ディスカッション	芸能に携わる仕事あれこれ 芸能界への入り口について考える	講義を受けた感想レポート
10	講義	情報解禁について	講義を受けた感想レポート
11	講義	メディアとの付き合い方 芸能事務所における広報担当者の役割	講義を受けた感想レポート
12	後期試験	口述試験 面接に出るような質問に即興で答える	口述試験
13	講義	挨拶とオーラの話 プロスポーツ選手の日常に学ぶプロ意識	講義を受けた感想レポート
14	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	

科目名	マネジメント実習 4	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	加藤 将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）／企画制作業務～トップコート（11年）／タレント育成&マネジメント～現サテライト東京／俳優Mg・演劇プロデュース等口						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	<input type="checkbox"/> タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る <input type="checkbox"/> 講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る <input type="checkbox"/> 見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる <input type="checkbox"/> テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	■口述試験 0点～25点 …企業面接で想定される質問に対して臨機応変に対応し、自己アピールにつながる様な回答ができるか。 （咄嗟に出された質問に自分の考えを自分の言葉で相手に伝える） ■総合的な授業態度 0点～75点 …出席率（目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で行かない。）0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。0～25点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義・実技体験	俳優のマネジメント 台本を読む。役作りのヒント／キャストニーズを考える。	事前に配布される台本を読み込んで演技体験 台本からキャラクターをイメージする
2	適正診断テスト	適正診断テスト 性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る	講師が用意する適正テストを受ける
3	講義	ダンサーなのに！？ なぜTAKAHIROをトップコートでマネジメントしたか	事前にTAKAHIROのほか著名ダンサー、振付師について自分なりに調べ る
4	講義・ディスカッション	タレントという職業を考える	メディアに出ているタレントの世に出たきっかけを調べてみる
5	講義	新人開発の方法と極意	講義を受けた感想レポート
6	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする①	プレゼン準備／発表
7	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする②	プレゼン準備／発表
8	プレゼン	おすすめインフルエンサーをプレゼンする③	プレゼン準備／発表
9	講義・ディスカッション	芸能に携わる仕事あれこれ 芸能界への入り口について考える	講義を受けた感想レポート
10	講義	情報解禁について	講義を受けた感想レポート
11	講義	メディアとの付き合い方 芸能事務所における広報担当者の役割	講義を受けた感想レポート
12	後期試験	口述試験 面接に出るような質問に即興で答える	口述試験
13	講義	挨拶とオーラの話 プロスポーツ選手の日常に学ぶプロ意識	講義を受けた感想レポート
14	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15	講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	

科目名	グローバルコミュニケーション A 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、 日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション A 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションができるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション B 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション B 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション C 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	オンラインプラクティス
15		講義・演習	振り返り	オンラインプラクティス
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション C2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、現場で即戦力とされる人材として育成するために音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練することで自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2		講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3		講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4		講義・演習	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーションを理解する
5		講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6		講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8		講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する (#系メジャースケール)
9		講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする (b系メジャースケール)
10		講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽譜の書き方を知る
11		講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15		講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		

【使用教科書・教材・参考書】「ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	ミュージックセオリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2		講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3		講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4		講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5		講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6		講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし、理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし、理解度を高める
8		講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9		講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようになる
10		講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11		講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	イヤートレーニング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2		講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3		講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9		講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1~5度8度、#♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major, minorのコード判定、音程(1~8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14		講義・演習	期末テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	今までの内容を復習する
準備学習 時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		

【使用教科書・教材・参考書】

「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)

科目名	イヤートレーニング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	メディア&テクノロジー科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major, Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2		講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor, Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け (C, G, F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り (臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4		講義・演習	リズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り (臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6		講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、ベース (F-clef) のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12		講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き (C, G, F) メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14		講義・演習	期末テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
15		講義・演習	テスト返却、総復習	今までの内容を復習する
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】イヤートレーニング 喜多弘悦 (著) 滋慶教育科学研究所 (監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版 (発行) 株式会社滋慶教育事業部 (発売)

科目名	栄養学	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	栄養素などの基礎的な内容や食事摂取による学術的評価、栄養が心や成長・発達に及ぼす影響について学ぶ。 後半ではスポーツと栄養学の関係に注視し、身体強化やリカバリーに効果的な栄養摂取方法やスポーツによる必要な栄養について学び実践に役立てる。						
到達目標	専門知識の習得: 栄養学の基礎から応用まで幅広い知識を習得し、栄養素の機能や代謝、食事評価、栄養管理の理論などについて深い理解をすることができる。 健康への関心と実践: 栄養学の知識を自身や他人の健康に役立てるため、健康への関心を持ち、実践する能力を身につけることができる。						
評価方法と基準	筆記テスト60% + 出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	栄養学の基礎	授業内容の復習
2		講義・演習	エネルギー代謝と栄養摂取	授業内容の復習
3		講義・演習	食事摂取の評価とサプリメントの科学的根拠	授業内容の復習
4		講義・演習	食品の加工と栄養	授業内容の復習
5		講義・演習	栄養と成長・発達	授業内容の復習
6		講義・演習	栄養教育と心理的健康	授業内容の復習
7		講義・演習	栄養と社会的健康	授業内容の復習
8		講義・演習	プレ・ポストトレーニングの栄養戦略	授業内容の復習
9		講義・演習	高強度トレーニングと栄養管理	授業内容の復習
10		講義・演習	持久力スポーツとエネルギー供給	授業内容の復習
11		講義・演習	スポーツ栄養と身体組成管理	授業内容の復習
12		講義・演習	スポーツ栄養とリカバリー/復習	授業内容の復習
13		講義・演習	テスト	授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞踊舞台史1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を 選び一部発表できるように準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンガラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教材：舞台舞踊史)				

科目名	解剖学 (Body Fundamenta)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1) すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2) セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1) ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2) 自分の身体を知ることによってケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	宮澤真志
学科・専攻	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	弁護士歴7年。著作権をはじめとする知的財産権を専門としています。						
授業の学習 内容	エンタメ業界に就職する上で最低限必要になる法的知識						
到達目標	①プロや社会人になる上で、権利や契約がいかに重要であるかを知る。 ②エンタメ業界において、絶対にやってはいけないこと、気を付けなければならないこと等を知る。 ③適切なタイミングで、適切な人に、相談できるような感覚を身につける。						
評価方法と基準	出席率及び授業態度80%、テスト20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	著作権の基礎(1)～著作物って何だろう?～	授業の復習
2		講義・演習	著作権の基礎(2)～著作権ってどんな権利?～	授業の復習
3		講義・演習	違反になるケース～何が盗作になるの?～	授業の復習
4		講義・演習	違反したら犯罪!～海賊版って何?～	授業の復習
5		講義・演習	著作者人格権って何だろう?～替え歌っていいの?～	授業の復習
6		講義・演習	著作隣接権って何だろう?～ライブ配信アプリでカラオケ配信してもいいの?～	授業の復習
7		講義・演習	コピーとダウンロード～音楽ダウンロードは違法?～	授業の復習
8		講義・演習	写りこみ～写真に人や絵が写りこんだらダメ?～	授業の復習
9		講義・演習	著作物のライセンス～フリー素材ってホントにフリー?～	授業の復習
10		講義・演習	音楽著作権の世界～JASRACってどんな団体?～	授業の復習
11		講義・演習	契約条件～契約書ってホントにおそろしい?～	授業の復習
12		テスト	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
13		講評	基礎知識の習得度の確認	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤将太
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	古代音楽、中世音楽、ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、近代音楽など、さまざまな時代やスタイルの音楽ジャンルの特徴や発展とその時代に活躍した音楽家や楽曲について網羅的に学ぶ。学んだ内容から音楽史におけるジェンダーとの関係、評価の変遷等の諸問題について検討・議論を行う。						
到達目標	音楽の歴史的背景の理解：音楽の歴史を通じて、異なる時代や文化における音楽の変遷や発展を理解し、音楽の多様性と連続性を認識できるようになること。 また、その学びから音楽の要素や構造を読み取り、音楽の楽曲や作曲家のスタイル、形式、技法などを分析し、その背景や影響を理解することができるようになること。						
評価方法と基準	筆記テスト60%+出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	古代音楽の概要 古代エジプト、メソポタミア、古代ギリシャの音楽	授業の復習
2		講義・演習	中世音楽の発展 グレゴリオ聖歌と教会音楽/トルバドゥールとトルヴェールの音楽	授業の復習
3		講義・演習	ルネサンス音楽 ポリフォニーの発展と宗教音楽/ルネサンス期の主要作曲家と作品	授業の復習
4		講義・演習	バロック音楽 バロック期の音楽様式と特徴/主要作曲家と作品	授業の復習
5		講義・演習	クラシック音楽 ウィーン古典派とハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの音楽/主要作曲家と作品	授業の復習
6		講義・演習	ロマン派音楽 ロマン派の音楽様式と特徴/主要作曲家と作品	授業の復習
7		講義・演習	近代音楽の興隆 印象主義とクラウディオ・ドビュッシーの音楽/モダンな音楽様式と主要作曲家	授業の復習
8		講義・演習	ジャズの発展と影響 ジャズの起源と発展/主要なスタイルと代表的なミュージシャン	授業の復習
9		講義・演習	ポピュラー音楽の歴史 ロックンロール、ポップ、ヒップホップなどのポピュラー音楽の発展/音楽の主要なジャンルと代表的なアーティスト	授業の復習
10		講義・演習	ワールドミュージックの紹介 アフリカ音楽、ラテン音楽、アジア音楽などのワールドミュージックの概要/文化的背景と特徴的な楽器やリズムの紹介	授業の復習
11		講義・演習	音楽と社会の関係 音楽と政治、社会運動、文化の関連性/社会的メッセージを持つ音楽の例と影響	授業の復習
12		講義・演習	音楽史の総まとめと展望 音楽史の要点と重要な出来事の振り返り/現代音楽の動向と将来の展望	授業の復習
13		講義・演習	学生プレゼンテーションとディスカッション 学生による特定の時代や作曲家についての研究プレゼンテーション/学生同士の意見交換とディスカッション	授業の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				